

観 光

本村の観光資源は、雄大な赤城高原の広大な農地と自然環境、それらを望む景観、そして、大自然がもたらした産物のりんご・いちご・さくらんぼ・ブルーベリー狩りなどの観光農園や、新鮮な農産物を豊富に取りそろえた農産物直売所「旬菜館」、スポーツと滞在型施設「昭和の森」（ゴルフ場・山荘）のほか、赤城高原の別荘地、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」、日帰り温泉施設「昭和の湯」などがあり、総合運動公園や千年の森スポーツセンター（サッカー場）では、スポーツを通じて多くの人々が交流し健康増進を図っています。

また、平成23年7月にオープンした、「道の駅 あぐりーむ昭和」は、農産物直売所「旬菜館」をはじめ、昭和村の食材を使用したレストランや物産館、足湯、無料休憩所、観光案内所、トイレなどを完備した施設となっており、連日、多くのお客様で賑わっています。

昭和村を訪れた令和元年度の観光客数は、道の駅あぐりーむ昭和に約618,000人、昭和の森ゴルフ場・山荘に約10,000人、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」には約29,000人、昭和の湯に約96,000人、総合運動公園に約13,000人、千年の森に約18,000人の来場があり、合計では約784,000人の人々が訪れています。

また、平成14年度からは、誰にでも使いやすい安全で快適な観光トイレを、望郷ライン等の幹線道路沿いや結婚の森地内の4か所に整備し、併せて観光案内看板も設置しました。また、平成26年度からは望郷ライン及び大規模農道沿いや結婚の森の良好な景観ポイントにビューポイントを3ヶ所整備しました。

平成28年度には「赤城山船ヶ鼻登山道」が整備され、「樽水」「牛石」の2つの初級者～中級者向けのコースが開通しました。

村の祭り・イベントとしては、春には「昭和の日記念イベント」と「やさい王国昭和村河岸段丘ハーフマラソン」、秋には、「昭和の秋まつり」、冬には「ウインターフェスティバル」などが行われ、年々、来場者が増えています。

今後は、友好都市との交流をより一層深めるとともに、定年退職した団塊世代の観光ニーズや、近年急速に伸びている訪日観光客によるインバウンド需要などを取り込むことが求められています。